

元旦の新聞 5 紙から 2017 年の予測を試みました。

ところが今年は今までは未来予測の難しい年らしく、予測に触れない新聞が続出したので、週刊誌等も追加してみました。今年には政治的には世界中に 21 世紀は 20 世紀とは違うことを印象付けた年になりそうな予感がしました。一方技術は IT 関連を中心にますます進化の兆しがあり、今年には社会生活が相当変わる可能性を感じました。

1. 政治的予測

① **トランプ氏**

いシナリオはる、

② **ドイツ**

あり、

オランダ、フラ

離脱を増幅するか注目される、

④ **中国**— 5 年に一度の共産党大会、**習近平**のにきめは、思い通りの人事になるか、景気の落ち込みの不安あり、

⑤ **韓国**— **大統領罷免**で不在の為不透明感がたよう。

⑥ **北朝鮮**— **金正恩**体制 5 年を過ぎ、トランプ氏の対応が注目される、

(注 1: 上記画像は「週刊東洋経済。2017 大予測」から引用しています)



が巻き起こす騒動。— 今後の良いシナリオは景気拡大、悪保護主義、就任後の上下両院での所信演説で決まってく

ルケル、4 期目は難民の対策で世論二分、求心力に陰り

③ **EU 離脱**、主要国の
ンス、ドイツと選挙で



2. 日本の予測



① 失速は避けられるが、大半は穏やかな回復を予測、少子高齢化の不安、個人

消費の停滞を懸念、

第 1 生命は人工知能とロボットで乗り切ろうとしている、

住友化学はデジタルの流れを加速、

ソポは多様な人材の活躍、時間重視から成果重視に変える、

(注 2: 左記画像は「週刊東洋経済。2017 大予測」から引用しています)



②その他**安部内閣**は一.所得税改革、ロシアと日本、農業改革、憲法改正、残業規制、天皇退位年金引き下げ、地方創生等の難題を多く抱える。

③**小池改革**—東京五輪から透明な都政、情報公開で都政を見える化し、政治への信頼を取り戻す。

3.大阪の予測.大阪は 2015 年誘致を目指す**万博**に備え夢洲の他 **IPS 研究所**や**先端技術研究施設**、観光スポットを活用して、**笑いと健康**をテーマに技術と文化を紹介しようとしている、またウメキタを開発、2 期目は緑を、テーマに再開発、一方大学のキャンパスが誕生している、**関西大学**は昨年起業家や社会人教育のきやんばすを、**大阪工業大学**はロボティクスとデザイン工学部が発足、ロボットや AI を行う、3-8 階に異業種交流サロンを作成した、学びの場は都市へ向かっている、

4. 情報技術の進化は今年は一層進むと予測される。

2016年ブレイクした**ポケモンGO**に象徴されるように、インターネットをとおして**VR**(仮想現実)、**AR**(拡張現実)の技術が進み、**IOT**や**AI**及び**ロボット**の融合で我々を予測を超えた世界に導く可能性を感じます。

1. **アップル**の苦悩—iphone の売上増加率が低下している、apple は腕時計やメガネ型の端末を用意しているが、iphone の利益率が抜群なのと、アプリの売上がのびているので、余裕を持って iphone の高度化と販売力の強化を図っている、

2. **Vr**—**仮装現実**、音声認識—2016 年は VR 元年とされ、女性アナとのデートやゲームのコンテンツを VR で作る、大鷲(わし)になって空を飛ぶ様に実感する仮装現実が一般に手が届く様になった、カフェでヘッドマウントディスプレイを頭につけてゲームに入り込む、

3. **ポケモンGO**—実風景に CG—
一年は AR の元用している、マて 3 次元の画
想現実の融合

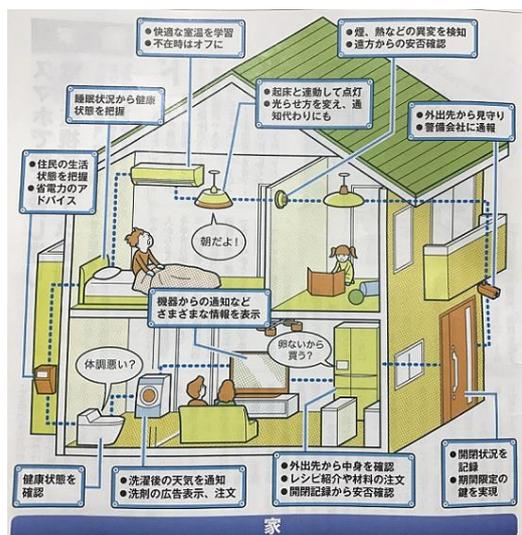


AR—**拡張現実**—が**ポケモン go**が実現した現コンピュータグラフィックスを重ねる技術、2016 年でもあった、**ポケモンGO**は**GPS** や **AR** を適イクロソフトは**Google**端末**ホロレンズ**をつけ像を重ねた映像が見れる、さらに **AR** と **VR** 仮を目指している、スポーツを TV で見ているとテーブルに選手が現れる、メガネ型スマートグラスをつけて現実と仮想を融合した設備の保守点検が可能となりそうだ、三菱電気は 3 年以内の実用化を目指す、旭エレクトロニクスは溶接の訓練にシステムを開発、衣服の試着や写真アプリの利用が広がっている、イケアジヤパンは自宅の写真に家具を写し疑似体験するアプリを提供する、

4. **自動運転**—は **IOT** や自動運転技術では追いつかない状況になっている、自動車もインターネットに接続し **AI** とクラウドで周りの車や信号機等と情報のやり取りする、クラウドは運転傾向や天候、時間帯を基に個々の車の事故リスクを予測する、保険会社やタクシー会

社への需要を見込む、

5. IOT一物がインターネットにつながる一家庭に広がる一は今後あらゆる可能性を持つもの



のになっている、2017年はIOTが家庭に普及する年になるだろう、

富士通は犬の首輪にセンサーを付け歩数を測り活動量を計算したり、カメラを内蔵して犬目線で室内を写し、健康にいらしているかのハッピー度の計算をする、今後ペットとの会話の可能性さえあると言う、

ベンチャーの対話ロボットオリヒメを1000台作り学校へ置けば病気の子はスマホで授業を聞いたり、質問も出来る、外出中の親との会話も可能、共稼ぎが増えているので注目されている、

家電では洗濯機ロボットがたたんだり電子レンジ

が献立を提案する、シャープはクラウドのAIにつなぎ履歴や季節、天候データからお薦め食事を提案、冷蔵庫に材料が無いならインターネットで発注する、伊藤忠テクノはトイレの開閉から個室の混雑利用をスマホで見られるシステムを三井不動産と開発、今後オフィス向け部屋の入隊後できる会議室の効果的利用勤怠かんりが可能である、

(注3:上記画像は「週刊ダイヤモンド。2015 IOTの全貌」から引用してます)

6. IOT一企業への適用一スマート工場はあらゆる物をつなぎ工業の見える化や効率化の取組が拡大しそうだ、

ファナックは機械メーカー350台つなぎ稼働率を表示した、

ヤマザキマサツクは工業内の機械をネットワークにつなぎ装置を16年に開発、

DMG 森精機は日本マイクロソフトと協業しサイバー対策へ乗り出した、

富士通はセンサーから収集した稼働実績やエネルギー使用量の情報を図やグラフを表示するソフトの提供を始めた、(注4:左記画像は「週刊ダイヤモンド。2015 IOTの全貌」から引用してます)



日立製作所は工業内の人の動きから最適の作業方法を探るシステムを作る、部品や仕掛品を納める箱や棚にICタグを貼り付け、物の流れをとらえる、滞納の工程があればカメラ搭載の台車が作動し、作業員の動きを撮影する、その動きをAIで分析し、最適な作業方法を導き出す、

米 GE や独シーメンスは産業機械や設備のデータを収穫し、IOT向けクラウドサービスの

提供に力を入れている、

7. IOT—農業—IOT により農業を工業に近づける、

富士通はトマト、パプリカの栽培を温室内の温度や湿度を維持し細かくかんさつする、

久保田は NTT グループと zhps とすラウドとあいといお t を組み合わせ無人の自動運転でトラクターやビッグデータを活用した農業向けサービスを 18 年に実行する、また無人のドローンで農薬散布に使う、

8. AI—2017 年は気がつけば側に AI があるという流れが進みそうに思われる、1050 年以來 AI は第 3 次ブームにある、ディープラーニングの登場で人事や組織の管理にも活用が始まりそう、

日本 IBM は **AI コンピュータワトソン** を企業向けに導入を半年から 2 ヶ月、費用を 1 億円から 2 千万円にした、17 年は AI と人間の新しい関係構築の重要な年となりそうだ、

(注5: 左記画像は「世界を変える 7 つの次世代テクノロジー」洋泉社から引用してます)

9. その他—ウイルス対策—2017 年もパソコン内データを使えなくする代わりに金を要求するコンピュータウイルスが猛威をふるいそうだ、**ランサムウェア**—身代金—トレンドマイクロ 16 年 7-9 月に 3 万 4 千 200 台に上った、63%は身代金を払っている、16%が 1000 万以上だつた、常にバックアップ等の対策が必要である、

